

YPU ドリームアドベンチャープロジェクト2009成果報告会

1月21日(木)に「YPUドリームアドベンチャープロジェクト2009」成果報告会を開催し、全6プロジェクトが昨年の7月から今年1月までの活動の集大成を発表しました。

各グループは学生ならではの視点からプロジェクトを展開し、報告からは、試行錯誤を繰り返しながらも、着実に活動を進めてきたことが伝わってきました。参加した学生たちは、それぞれの目標に向かって自らが企画をし、それを達成するためには、たくさんの人との関わり合いがあること、その関わりをもって、初めて活動が形作られていくことを学んだようでした。また、この活動を通して味わった達成感や経験は、学生たちの自信にも繋がったようでした。

選考委員からは、「活動を通して社会を見直すことで、大学や地域の活性化にも繋がる。」「ドリームアドベンチャープロジェクトには、机の上だけでは出来ない学びがある。この活動を絶やさないように。」とのお言葉をいただきました。

最後には「県大ばたけ」が、大学でとれた梅で作った梅ジュースを出席者にふるまい、報告会を終了しました。

今年度のドリームアドベンチャープロジェクトでの各プロジェクトの取組は終了しましたが、今後も活動を継続するグループもあり、活躍が楽しみです。



山口県立大学GP合同フォーラム

11月14日(土)、講堂にて、本学で進行中の6つのGPの総集編として「山口県立大学GP合同フォーラム」を開催しました。

第1部では、京都大学大学院教授、山極寿一氏をお招きして『環境・共生・未来』～ゴリラが教えてくれたこと～をテーマに、基調講演をしていただきました。第2部では、各GPに分かれ分科会を行い、学生支援GPは、本学の現代GP(地域)、特色GPと合同で開催しました。

分科会第1部のプレゼンテーションでは、岩手県立大学 山本克彦准教授から特色GP、長崎大学 財修一准教授から学生支援GP、人見英里 学生活動支援センター所長から学生支援GP、本学各GP代表者から取組紹介、地域の方や学生から意見をいただきました。

第2部のパネルディスカッションでは、「これからどうする!? 県大・地域～広場のような大学を目指して～」をテーマに、本学と地域との関わり方について考え、会場の学生や地域の方を交えた活発な意見交換や質疑応答が行われました。分科会の後は交流会を開催し、フォーラムとは違った和やかな雰囲気の中で、他大学や地域の方との積極的な意見交換が行われました。



Y&I 交流会開催

～留学生と日本人学生の交流会～

*Y&IにはYamaguchi & International, You & I, 友&愛など、いろいろな意味が込められています。

第2回「下関・門司港への日帰りバスツアー」



11月1日(日)に「下関・門司港への日帰りバスツアー」を行い、留学生15名と日本人学生17名が参加しました。小雨の降る中、大学のバスに乗り込み、下関の「海峡ゆめタワー」へと向かいました。雨と霧で景色はかすんでいましたが、記念撮影などを楽しんでいました。しものせき水族館「海響館」では、イルカやアシカのショーに大興奮!その後、多くの人で賑わう「唐戸市場」・「カモンワーフ」で海の幸を堪能しました。昼食後、門司港レトロ地区に向けて、関門連絡船に乗り5分対岸へと渡りました。波が高く、船は揺れましたが、みんな元気な様子で門司港レトロ散策を楽しみました。帰りにバスで関門橋を渡ったときには、空が明るく晴れており、関門海峡周辺をぐるっと見渡せ、みんな歓声をあげていました。心配された天気も、大降りになることはなく、少し肌寒くはありましたが、楽しい1日となったようです。

第3回「やまぐちの料理教室(地産地消料理教室)」



1月13日(水)に開催された「やまぐちの料理教室(地産地消料理教室)」に、留学生と日本人学生が参加し、郷土料理を通じて交流しました。

上関町から管理栄養士の穴井恭子氏と食生活改善推進員(食推)の村田喜代子氏を講師に迎え、上関町の伝統料理である「押しずし」や「けんてん」を作りました。最初に講師の先生方から作り方を御指導いただきました。具たくさんのお押しずしには、お米が貴重であったため、具材を増やすことによってお米のかさを増そうという昔の人の思いが詰められていることなど、上関町の歴史や風習も伝えて下さいました。

最初は言葉の壁を感じていた参加者たちも、調理をはじめると自然と協力し合い、押しずしを型からはずすときは、拍手が起こるほど和気あいあいと楽しんでいました。

試食の時間は、ちょうど夕食時刻にあたり、山口の食材をふんだんに使い、みんなで作った料理に舌鼓をうちながら、和やかな一時を楽しんでいました。